



学校だより

## ながや

令和元年度 第7号  
令和元年 10月31日  
横浜市立永谷小学校  
校長 平野 好子

## 「永谷スポーツフェスティバルを終えて」

校長 平野 好子

10月19日（土）に予定していた永谷小学校スポーツフェスティバルは、前日までの雨のため、校庭のコンディションを整えることができず、やむなく前日の段階で、20日（日）に延期を決定しました。20日（日）は、降雨の心配もなく、途中、晴れ間ものぞき、暑すぎず寒すぎず、運動するには心地よい天候となりました。

それまで、指導を受けながら、準備の段階から全力で取り組み、結果だけでなくそこに至る過程を大切にしてきた子どもたちを見てきました。当日は、今までの練習の成果をきっと発揮してくれるだろうと願いながら見ていました。一人ひとりが自分の力を出し切り、仲間とともに勝利に喜ぶ表情、勝負に負けて悔しがる表情、やり切った達成感を味わい満足した表情を見ることができました。

前月の学校だよりで書かせていただいた私の願うスポーツフェスティバルでの永谷小の子ども姿も、当日、いたるところで見ることができました。自分の競技や演技に対してお互いに「サイドをつくることなく相手のよいところを認め合うという『ノーサイドの精神』でたたえあう姿です。本当にうれしく思いました。子どもたちは、思いをもって、自分で考えて取り組んでいました。

先日、ある講演の中で私たち大人が育てなければならない次世代の「自立した大人」についての話を聞きました。

自立した大人とは、

- 自分を大切に思う
- 人を信頼することができる
- 自分を律することができる

「自分を大切に思う」とは、自尊感情です。自分は、足が速いわけではない・・勉強が得意なわけではない・・かわいくもかっこうよくもない・・と自分で思うことがあっても、でも、自分にもできることや好きなことがある、自分はここにいていいのだと思う気持ちです。「人を信頼することができる」は、ありがたいと思えることでもあります。危機を訴えたときに愛情をもって接する人の存在があることで、子どもは困ったときに助けてくれる人がいることを感じ、そのことで、人を信頼する力が育ちます。「自分を律することができる」は、一定のルールの上で行ってよい行動なのかどうなのかを自分自身で考え欲望や衝動を抑え行動することです。子どもたちが対面するいろいろな場面で、その都度、ルールを意識させ、どうしたら衝動を抑えられるかを周りの大人たちと考えていくことが大切です。そういった数々の経験を積みながら律する力をつけていくことと思います。

自立するとは、誰にも頼らず一人で生きていくということではないのです。スポーツフェスティバルでの活躍を願う地域や保護者の方々の応援を受ける子どもたちを見ながら、多くの人とつなげながら、明日を担う子どもを自立した大人に育てなければならないとあらためて強く感じました。

生き生きとした子どもたちの表情は、子どもたちの活躍を心から応援してくださる保護者や地域の皆様の支えあつてのことです。ありがとうございます。今後ともご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。